



新年のご挨拶

橋（岩崎）廣治（当協会 会長）



あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、会員、並びにご家族の皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

日本、パプアニューギニアを含め世界中がコロナ禍に見舞われる中で、新しい年を迎えました。

一年前には想像も出来ない困難な国際情勢になっております。世界の人々との交流が非常に難しくなっており、いずれの国の国際空港も閑散としております。我が国からパプアニューギニアへの渡航も非常に難しくなっており、我が協会の活動にも様々な制約が見られます。

しかし、このような国際、社会情勢であるからこ

そ、協会の役割は益々重要になっているものと確信します。

猛威を振るっていたコロナ禍も、新年に入り世界ではワクチン接種が始まり、いよいよ終息の段階に入っているものと思われます。

早い時期のコロナ禍終息を心から期待しておりますが、我が協会は、どのような状況下にあっても、少しでも可能なことを行うの覚悟で、その歩みを止めることなく、パプアニューギニアとの友好関係の促進に努めて参ります。

本年も引き続きご支援ご協力のほど、何卒宜しくお願いいたします。

パプアニューギニア国防軍軍楽隊への制服の寄贈につきまして

協会事務局

パプアニューギニア国防軍軍楽隊は、2018年ポートモレスビーでのAPEC（アジア太平洋経済協力）で華々しくデビューしました。日本の陸上自衛隊中央音楽隊が訓練をされたものですが、そのご縁あって昨年の防衛省の「自衛隊音楽まつり」に来日して演奏を披露する機会が予定されておりました（演奏はコロナ禍のため2021年は中止となりました）。

その演奏をするにあたり、彼らがしっかりとした演奏服を持ち合わせていないことが判明しましたため、国防軍軍楽隊に演奏服を寄贈という話が持ち上がりました。

同時期に堀江名誉顧問を通して、田中富久子様よりお父様がお世話になったパプアニューギニアで何かお役に立ちたいとのお申し出があり、国

防軍軍楽隊の演奏服と田中様のお気持ちを協会事務局にて調整をさせていただいた結果、今回の寄贈が実現となりました。

昨年に急いでご用意する予定でしたが、昨年の演奏は中止となりましたことから、国防軍軍楽隊と現在諸々の調整を実施しており、写真のような演奏服が近々完成し、現地へ輸送の予定です。完全MADE IN JAPANで、現地の軍楽隊の方々の希望をできる限り取り込んだ形となっております。

なお、国防軍軍楽隊の今後の演奏機会について、細部が決まりましたら改めてご案内させていただきます。



パプアニューギニアへの思い

田中 富久子

私が父の寿命を超えて生きていることを認識した 80 歳になった頃、父が生涯をかけて恩返しをしたいと願っていたに違いないパプアニューギニアに私も何らかの恩返しをする時が来たと思いました。私が物心ついて初めて父の顔を見たのは小学校 2 年の頃、戦争から帰ってきたという父を上田駅に出迎えた時でした。以来、家族への戦争の話はほとんどなかったのですが、「田中兼五郎追悼録」によりますと、父はニューギニアで戦死した日本兵の遺骨を日本へ持ち帰ることに加え、パプアニューギニア戦線の生き残りの人たちとパプアニューギニア人との間に絆を結びたいという希望を持って日本に戻ったとのこと。

そのため、戦時中日本軍に協力して労役や食料を提供してくれた人々への謝意のために日本パプアニューギニア友好協会を作ること尽力をしたそうです。父の死の 4 年後、1994 年に、ニューギニア慰霊巡拝の旅に参加した時、父のこの心は当然のことと実感しました。この旅で、寄付されたという白い学校を見ましたので、何か恩返しを考えた時、学校をと思ったのですが、ちょうど、軍楽隊の制服を寄付しようという企画があるとのことでしたので、参加させていただきました。



英霊碑の前で（母と私）



ヤホブ慰霊碑

田中様のプロフィールをご紹介します。

田中様は、当協会の会員で、お父様は田中兼五郎様、現在横浜でクリニックを経営されているお医者様でられます。

田中 富久子（職業名 貴邑 富久子）

田中クリニック横浜公園院長、横浜市立大学名誉教授

【経歴】

昭和 14 年 4 月 29 日	田中兼五郎とはるの長女として東京に生まれる。
昭和 39 年	横浜市立大学医学部卒業
昭和 50 年	米国テキサス州立大学医学部へ留学（1 年間）
昭和 60 年	横浜市立大学医学部生理学教授
平成 16 年	横浜市立大学医学部長
平成 17 年	横浜市立大学定年退職、横浜市立大学名誉教授、国際医療福祉大学小田原保健医療学部長
平成 20 年	国際医療福祉大学小田原保健医療学部長を退職。以後、国際医療福祉大学付属三田病院、みなとみらいクリニック、陽の光クリニックで、糖尿病、生活習慣病、更年期障害などの臨床家として過ごす。
平成 23 年	田中クリニック横浜公園を開設（院長）
平成 29 年	瑞宝中綬章受賞

【学会と社会活動】

日本神経内分泌学会会長、日本神経科学大会大会長、日本生殖内分泌学会会長を歴任。日本内分泌学会理事、日本神経内分泌学会理事、日本生殖内分泌学会理事、日本神経科学学会理事、日本生理学会常任幹事を歴任。

【ご著書】

「シンプル生理学」（南江堂）（改訂第 8 巻改定中）、「女の脳・男の脳」（NHK 出版）、「脳の進化学」（中公新書ラクレ）、「性差医学入門」（じほう）、「トコトンやさしい脳の本」（日刊工業新聞）、「面白いほどよくわかる脳と心のしくみ」（アスペクト）、「がんで男は女の 2 倍死ぬ」（朝日新書）、「女の古い・男の古い」（NHK 出版）、「はじめての生理学 上・下」（講談社）

マイケル・マウエ名誉顧問のお亡くなりのお知らせと協会の対応

伊藤 明德（ポートモレスビー支部長）

駐日パプアニューギニア大使を 9 年務められ、本協会の名誉顧問として活躍されていたマイケル・マウエ氏が 1 月 20 日に心臓発作のためポートモレスビーでお亡くなりました。故マウエ名誉顧問は、1979 年に外務省に入省し、キャンベラ、フィジー、パリ大使館での要職、PNG 政府貿易産業省次官、2002 年から 2009 年に駐日パプアニューギニア大使、外務貿易省次官を歴任され、平成 29 年秋の叙勲により日本政府から「旭日重光章」を授章されました。故マウエ名誉顧問は、退官後は本協会のポートモレスビーでの式典や行事にはご出席され協会をご支援して頂きました。私は、21 日から協会の代表として、毎日お通夜を訪問してご家族や親族に敬意を示しお手伝いをしております。お通夜には PNG 政府の高官、国会議員、大臣、故マウエ名誉顧問の同僚である大使達など多くのご友人が弔問に訪れています。中原大使からもすぐに弔辞がメレワラシ・マウエ夫人に届けられました。

協会からは、1 月 26 日に私と島田事務局長がオンラインで協会を代表して弔問を行い、橋大使の弔辞を読み、香典をお渡し

しました。マウエ夫人は涙を流し島田さんとお話され、日本の友人によろしく伝えて欲しいと挨拶されました。2 月 4 日は、故マウエ名誉会長の出身の行政区選出の国会議員である石油エネルギー担当のクア大臣の計らいで、ジェームス・マラペ首相、刑務所担当大臣、東ハイランド州知事が弔問に訪れました。故マウエ名誉会長に敬意を示す素晴らしい弔問でした。マラペ首相より政府による葬儀支援がアナウンスされ、2 月 18 日にポートモレスビーで葬儀が行われ、ご家族と棺がチンブー州の故郷へ運ばれ埋葬されます。

協会、そして日本と PNG のために尽力を尽くされた故マウエ名誉会長の冥福をお祈り致します。



在パプアニューギニア日本大使館

対 PNG 円借款「新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款」及び
令和 2 年度無償資金協力「経済社会開発計画」（地方電力網拡張計画）の署名式実施

2021 年 1 月 29 日、中原大使とエオエ外務国際貿易大臣の間で、円借款「新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款」（300 億円）及び無償資金協力「経済社会開発計画」（地方電力網拡張計画）（10 億円）に関する書簡の署名・交換式が行われました。

本円借款は、金利が 0.01% で、4 年の据置期間を含む償還期間 15 年という供与条件の財政支援であり、これにより PNG における新型コロナウイルス感染拡大を抑制するとともに、同国の経済危機からの回復に寄与します。また、地方電力網拡張計画は、PNG 電化パートナーシップのパートナーとして、ラム系統を中心として 5,000 超の家屋への配電設備を設置する事業であり、これにより同国の目標である 2030 年までの国民電化率 70% 達成に貢献し、もって同国の経済発展に寄与するものです。

同式典において、中原大使は、円借款「新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款」に関して「PNG は建国以来、国際場裏において一貫して日本を支援してきた大切なパートナーである。一方、昨年 2020 年初頭から世界は新型コロナウイルスに感染拡大に見舞われ、経済が悪化し、PNG では 2020 年の経済成長率が 3.3% と落ち込むと予想されている。こうした困難な状況であるからこそ、日本と PNG の関係は強固であるべき。本円借款は日本の PNG に対する ODA が始まって以来最大規模のものであり、この支援により、日本は PNG 経済の早期回復、安定した経済成長の達成、より多くの雇用と開発の

機会の創出に貢献したい。」と述べました。また、無償資金協力「経済社会開発計画」（地方電力網拡張計画）に関しては、「日本は、現在、PNG 最大の工業都市であるレイへの送電の安定化を図るために、約 140km の追加の高圧送電線を建設するプロジェクトに既に取り組んでいるが、この送電線の下に暮らしながらも必ずしも電気の恩恵を受けていない人々にも本無償資金協力によって明るい未来をもたらしたい」と述べました。

これに対して、エオエ外務国際貿易大臣は、「日本の PNG への多大な支援に感謝。日本は PNG にとって常に最も近い友人である。」旨述べ、また、同式典に同席したベッカー PNG 電力公社総裁から、「2030 年までに PNG の人口の 70% を電力に裨益させるという目標を持つ PNG にとって農村部の電化は重要であり、それに貢献する日本の支援にあらためて感謝する」旨の言葉がありました。



署名式の様子
写真下：左から
鯉沼 JICA 当地事務所長、
中原大使、エオエ大臣、
ベッカー電力公社総裁
及びポーモン財務省上級大臣顧問

令和 2 年度対 PNG 無償資金協力「経済社会開発計画」（保健・医療関連機材供与）の供与式実施

2021 年 1 月 13 日、ポートモレスビー総合病院において、中原大使とウォン保健・HIV/AIDS 大臣は我が国の無償資金協力「経済社会開発計画」による医療機材（9 億円相当）を供与する式典を行いました。

今回供与した機材は、除細動器 21 台、心電計 19 台及び超音波画像診断装置 21 台であり、ポートモレスビー総合病院及び各州の病院で使用されます。この無償資金協力の下、血液ガス分析装置 19 台は昨年既に各病院に搬送されており、CT スキャナー、可搬型 X 線撮影装置等は今年の早い段階で納入される予定です。これらの医療機材の供与によって、パプアニューギニアにおける新型コロナウイルス対策及び保健分野の強化に貢献が期待されます。

本式典において、中原大使は、「パプアニューギニアでは新型コロナウイルスの脅威が継続しており、追加的な規制も実施されている中、新型コロナウイルスと戦う努力を続け、必要な対策を行わなければならない。この支援により、日本がパプアニューギニアの人々の健康の増進に貢献するとともに、二国間の友好関係がより強固になることを望む」と述べました。

これに対して、ウォン大臣は、「日本からの時宜を得た支援に感謝

する。関係者を訓練し有効に使用したい。日本の PNG 支援は 1974 年に始まり、継続して支援を受けており、ドナーの中で最大の支援国の一つである。日本には電力分野等、保健以外の支援もいただいております。首相、PNG 国民を代表して改めて感謝申し上げたい」と述べました。

また、モルミ・ポートモレスビー総合病院 CEO 及びジョンストーン同病院副理事長は、過去の病院施設建設に加え、高品質の医療機材供与に感謝の意を表し、医師、看護師ともに大切に使いたい旨述べました。



供与式の様子
写真右：左から ダクララ保健副次官、モルミ・ポートモレスビー総合病院 CEO、
中原大使、ウォン大臣、リコ保健次官及びジョンストーン同病院副理事長

荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

年も明けた 2021 年初旬、突然の訃報が入ってきました。

2002 年 9 月 7 日から 2009 年 11 月 28 日まで在日パプアニューギニア特命全権大使の、Michael M. Maue 大使が突然逝去されたというお知らせが大使館へ連絡がありました。

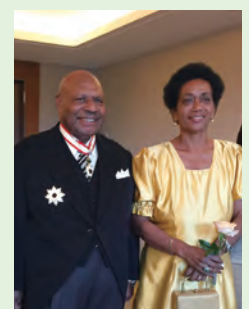
最後に日本をご訪問されたのは、2017 年の 11 月 28 日に、内閣府より旭日重光章(The Order of the Rising Sun) という日本において高く評価される功績を挙げた方にだけ贈られる、大変名誉ある勲章を授与される為にご夫人と共に来日されました。

7 年間の大使時代は、精力的に日本企業や外務省との連絡を密にされ、レディスクラブの活動にも大変ご理解を頂き、多くの日本人の方々との交流を密にされました。

また、新大使館の建設にもご尽力され、2010 年に、現在地の目黒に、“Maori Kiki House” という大使館を建設されました。

Michael M. Maue 大使に Yabon 臨時代理大使以下、大使館スタッフともども深い悲しみと共に、哀悼の意を捧げたいと思います。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。



芹澤 克明 (代表取締役社長)

学校図書株式会社は、小学校と中学校の教科書の編集・発行を主な業務としている出版社です。当社は、JICAの「PNG 理数科教育の質の改善プロジェクト」(2016年～2019年)に、協力会社として参加させて頂きました。

プロジェクトでは、PNGの小学校3年～6年の算数と理科の教科書と教師用指導書の編集、印刷用データの作成に協力しました。PNG初の国定教科書の作成に関わることができたことは、大変光栄なことで感謝しています。

私達が手掛ける日本の理数科教科書は、熟練した教師の指導経験を元に編集され、体系的に児童が主体的に活動し学び、発見する、問題解決型となっています。それは世界に誇れる教科書と信じています。PNG政府は全ての児童に質の高い教育の提供を目標に日本と同様に問題解決型の授業実践を目指しています。PNG教育省のプロジェクトメンバーは、我々の問題解決型の教科書を専門家の指導の元で研究し、PNGの環境、教師、児童の経験や教えと学びのレベルを考慮しながらPNGに適した新教科書の開発を進めました。編集作業の指導を通して読みやすく、理解しやすいユーザーフレンドリーの教科書に変わってきました。これらの工程で、私達が持つ教科書開発のノウハウが彼らに理解され定着して行くことを感じました。ま



算数の教科書・指導書を持つカウンターパートと伊藤統祐

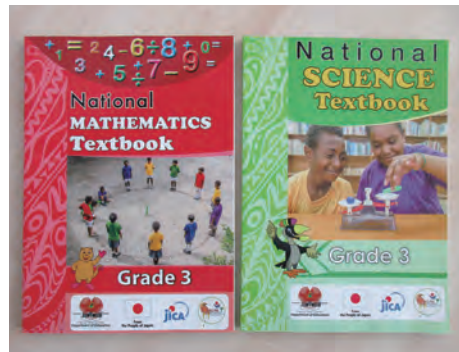
た、理数科の図版・イラスト・写真は、世界共通の内容も多く、PNG教育省から当社のものを使用したいという依頼があり、著作権に配慮して提供させて頂きました。

3年・4年の新教科書と指導書は、2020年からPNGの学校で使用されています。3年・4年の教科書・指導書がPNGに到着した写真を見たときは、達成感と共に教科書を手にした児童の笑顔が浮かび感動しました。

また、当社は、2018年に文部科学省の日本型教育の海外展開推進事業(Edu-Port ニッポン)の応援プロジェクトとして採択され、PNGの教員養成校と教員向けのデジタル指導書の開発を行いました。デジタル指導書は、JICAプロジェクトで開発した3年～6年の算数と理科の指導書をタブレット上で操作できます。今後、PNG教育省がPNG教師による模範授業の動画等を追加していくことになっています。

さらに、当社は、PNGの児童の学習サポートする算数ノートや問題集の開発を計画しています。また、算数1年・2年の教科書の開発もPNG教育省と開発の基本合意をしており、日本で初めての官民共同開発プロジェクトとして進めて行きたいと考えています。

今後も、当社の編集技術や開発経験を生かして、PNGの児童と教育界に貢献していきたいと考えています。



小学校3年の算数と理科の教科書

事務局からのお知らせ

2021年1月末発行予定のごらくちょうをお届け致します。

発行が遅れましたことお詫び申し上げます。

紙面の調整中に元駐日パプアニューギニア大使、当協会名誉会長のマイケル マウエ氏の訃報が入りました。

皆様にはメルマガにてご案内をさせていただ

きましたが、突然のお知らせに本当に胸が痛みました。

協会としてお香典20万円を包ませていただきました。現地の日系企業、日本大使館などからもお香典が届けられたと聞き及んでおります。

故郷のチンブーでのご葬儀が執り行われるとお聞きしております。

当協会発足当時よりマウエ元大使には大いにお世話になりましたことを思い出します。

ご就任当時は独立記念日の式典を三田国際ビルの大使館の一室で数名の参加者でお祝いをし

たこと、その後協会共催で独立記念日の式典を開催、そしてPNGの発展と共に、ホテルでの立派な式典の開催とマウエ元大使はその手腕を発揮なさっておられました。多くの民間の方々とも強い絆で結ばれておられました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

昨年11月25日 防衛省において防衛大臣より当協会へ感謝状が授与されました。長年にわたるPNG軍楽隊へのサポートが認められたものです。次号にて改めてご報告させていただきます。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っています。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：24社 ◆ 個人会員：130名 (2021年1月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン株式会社内 TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方ぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員6,000円 家族会員3,000円 法人会員60,000円 学生、PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ